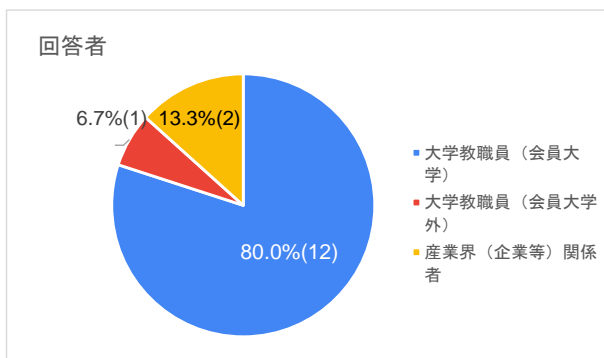


2021年度 第1回 大阪府内地域連携プラットフォーム公開講座
「今後の大阪の産官学による就職支援の在り方を考える」 (2021年10月21日開催)
参加者アンケート

回答者 15名 / 受講者 27名 回収率 55.5%

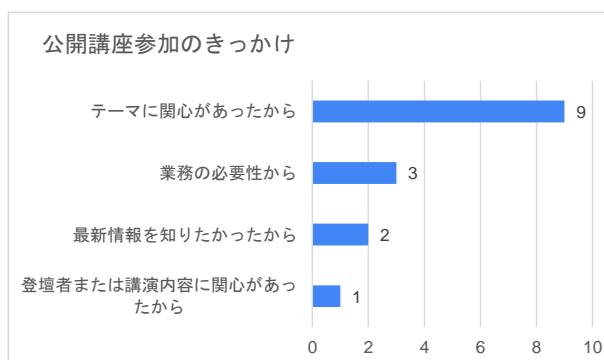
1. 回答者について

大学教職員 (会員大学)	12
大学教職員 (会員大学外)	1
産業界 (企業等) 関係者	2



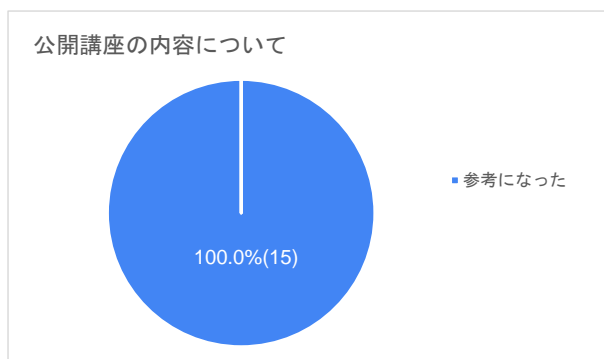
2. 公開講座参加のきっかけ

登壇者または講演内容に関心があったから	1
最新情報を知りたかったから	2
業務の必要性から	3
テーマに関心があったから	9



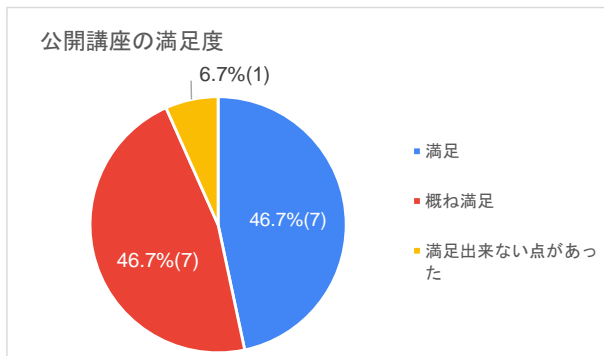
3. 公開講座の内容について

参考になった	15
参考にならなかった	0
どちらでもない	0



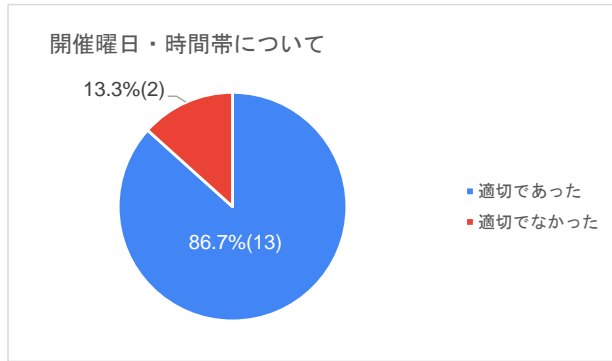
4. 公開講座の満足度

満足	7
概ね満足	7
満足出来ない点があった	1
不満	0



5. 公開講座の開催曜日・時間帯について

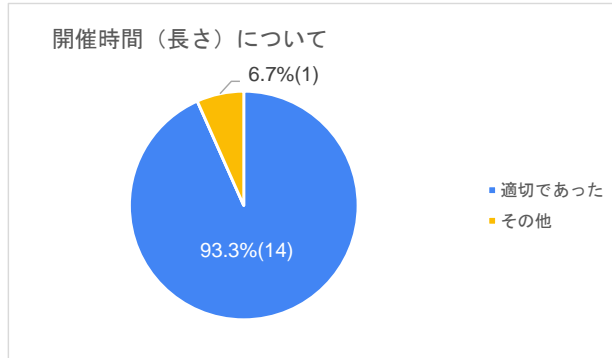
適切であった	13
適切でなかった	2
その他	0



6. 公開講座の開催時間（長さ）について

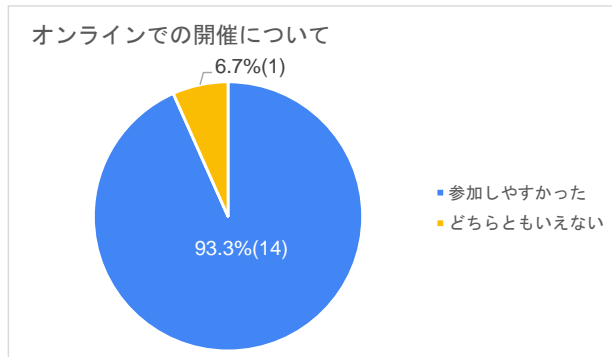
適切であった	14
適切でなかった	0
その他	1

その他：平日なので長かった



7. オンラインでの開催について

参加しやすかった	14
参集型の方が良かった	0
どちらともいえない	1
その他	0



8. 公開講座全般についての意見、感想

- ・発達障がい傾向の学生が4人に1人には驚きがあった。
- ・途中からの参加となりましたが、参考になる部分もありよかったです。
- ・障がい学生に対する行政面での支援の全体像を示していただければよかったです。
- ・本日の講座は発達障がい学生の支援に関する内容が中心であり、それは参考になったが、一般的な未就職者支援の方向性の内容があると思って参加しました。開催案内にもう少し具体的な内容を記載いただければと思います。
- ・発達障害、グレーゾーン学生の支援は大学の実務担当者としては大きな問題です。産官学連携での就業・定着支援が進むことを願います。
- ・今回のテーマが喫緊かつ重要な課題であり、本日の情報を今後の参考とさせていただきます。
- ・大学側の課題感とそれに対する取り組み事例など大変勉強になりました。
- ・本学は主に大阪府内から通学する学生が多いもの他府県からの通学生もいます。就職支援の在り方を考える場合に自治体（大阪府）に限定された活動とするのではなく、近隣の自治体府県との連携も考慮するのがよいと思います。グレーゾーンの学生の就職環境は住居から遠くない距離のほうが精神は安定するだろうし、職場定着率が向上すると考えます。